

令和5年度研修講座「学校運営の一層の充実と活性化を促進するマネジメント(基礎・探求)」開催要項

1. 目的

事務職員が教職員と連携・協働しながら、学校の教育目標の実現に向けた取組を進めていくため、教育や学校の現状・課題並びにその本質的な理解にかかる専門的な知見を身につけ、学校組織における唯一の総務・財務等に通じる専門職として、学校運営の活性化に主体的・自律的に関わることのできるマネジメント能力を向上する。研修講座について、[基礎]と[探求]を開催する。

2. 主催

(独)教職員支援機構(NITS) 岡山大学センター

<https://edu.okayama-u.ac.jp/~kyoujissen/nitsindex.html>

担当:梶井一暁(岡山大学大学院教育学研究科) [kkajii@okayama-u.ac.jp](mailto:kkajii@okayama-u.ac.jp)

3. 対象

・倉敷市小・中学校

全体研修「事務職員のキャリアと人材育成」(令和5年7月25日)に参加した者

・全国公立小中学校事務職員研究会岡山支部・関連支部

岡山支部第1回研修会(令和5年7月21日)、第2回研修会(全事研岡山支部セミナー、令和6年1月16日)、全国公立小中学校事務研究大会(福井)、中国地区事務研究大会(山口)のいずれかに参加した者

4. 令和5年度研修講座「学校運営の一層の充実と活性化を促進するマネジメント[基礎]」

(1) 対象

上記3の研修に参加し、追加研修を希望する事務職員(職歴10年未満を原則とする)、各10~20名程度

(2) 期日・方法

令和6年2月20日(火) オンライン ZOOM

(3) 日程等 学校の意義・役割と教育目標の問い直し[基礎]

6時間

時 間	形態等	内容等	講師等
9:45~10:00	受付		
10:00~10:15	開会	研修のねらい	NITS岡山大学センター
	講義	学校の成り立ちとその意義	岡山大学
10:15~11:15		(教育の理念と本質) ①世界	教 授 尾上雅信
11:25~12:25		②日本	教 授 梶井一暁
12:25~13:10	休憩・昼食		
13:10~15:00	演習	学校の教育目標をふまえた事務職員と教員の協働	岡山大学 准教授 平田仁胤
15:00~15:10	休憩		
15:10~16:10	講義・演習	学校の教育目標の実現を図る事務職員の専門性	岡山大学
		(研修の振り返りを含む)	教 授 高瀬淳
		アンケート、修了証授与	准教授 金川舞貴子
16:10~16:20	閉会		NITS岡山大学センター

\*修了者には、教職員支援機構岡山大学センターによる修了証が授与されます。

## ■研修講座のねらいと特色

学校を取り巻く内外環境の複雑化により、各学校は、教職員による個業の総和を越えるチームとしての高い業績・成果をあげることが求められる。そのためには、事務職員と教員が「チームとしての学校」の一員として、異なる立場からの意見を互いに尊重しあいながら、検討・合意形成していくことが必要である。しかし、事務職員が少数職種の行政職であることから、学校の教育目標の実現に向けた取組について、教員と対話する機会が必ずしも多くない。教員も、教育にかかる専門職として、様々な問題を教員同士で検討することが一般的であり、事務職員の専門的な知見を活用しようとする機会が少ない。

このような状況から、各学校では、学校の教育目標に向けた取組を事務職員と教員の「関わりあい」を促し、学校の協働文化の醸成を図っていく状況をつくりだすことが必要である。そのためには、事務職員と教員が、学校や教育の理念や意義に関する理解という点で共通の専門性をもち、目指す学校、児童生徒及び地域等の姿を語りあうことのできる同僚として相互に認めあうことが期待される。

本研修講座は、事務職員を主な対象として行う。学校が直面する運営上の事例を題材としながら、その分析・討議を通じた改善策を導き出していくケース・メソッドを取り入れる。その際、小グループを設定し、実践的な問題解決・意思決定能力を高めていくことを目指す（可能であれば、教員も参加したグループを設定する）。また、事務職員は、学校に必置の職と定められている一方で、養成や採用の段階で、必ずしも学校や教育の理論や本質にかかる専門的な知見が求められているわけでない。この点をふまえ、学校や教育に関する理念や意義の基礎的な理解に向けた学びの機会を保障する講義を研修内容に取り入れることにより、学校における適切な教育活動やその継続的な改善・変革に向けた取組に提案性をもって参画する事務職員の専門性の向上を図る。

## ■期待される成果（事務職員の姿）

学校や教育の本質に関する基礎的な知見を得ることにより、学校の存在意義や役割について理解を深め、自らの学校観・教育観の形成・振り返りに向けた契機とすることができる。

「チームとしての学校」の一員として、勤務校における教育目標の設定やその実現を図る取組について、児童生徒に対する直接的な指導に携わる同僚教員と協議していくことの重要性を理解し、学校の組織的な営みに主体的に関与していこうとする。

検証に当たっては、事務職員の学校運営に関する取組において、どのような変容があったか（なかったか）について、受講者による自己評価の変容を追跡して実施したい。また、可能であれば、管理職等（校長、副校長、教頭、共同実施組織の事務長など）への聞き取りを実施し、今後の研修講座の内容・方法に反映させる。

5. 令和5年度研修講座「学校運営の一層の充実と活性化を促進するマネジメント[探求]」

(1) 対象

上記3の研修を受講し、追加研修を希望する事務職員（職歴10年以上を原則とする）、各10～20名程度・

(2) 期日・会場

令和5年9月21日(木) オンライン ZOOM

(3) 日程等 社会のなかの学校の意義・役割[探求]

6時間

時間	形態等	内容等	講師等
9:45～10:00	受付		
10:00～10:15	開会	研修のねらい	NITS岡山大学センター
	講義	学校と社会の関係	岡山大学
10:15～11:15		①歴史的展開に関する考察	教授 尾上雅信
11:25～12:25		②今日的課題に関する考察	講師 宮本勇一
12:25～13:10	休憩・昼食		
13:10～15:00	演習	学校の教育目標を実現する事務職員と地域学校協働	岡山大学 教授 熊谷慎之輔
15:00～15:10	休憩		
15:10～16:10	講義・演習	学校の教育目標を実現する事務職員の専門性 (研修の振り返りを含む)	岡山大学 准教授 金川舞貴子
16:10～16:20	閉会	アンケート、修了証授与	NITS岡山大学センター

\*修了者には、教職員支援機構岡山大学センターによる修了証が授与されます。

## ■研修講座のねらいと特色

学校を取り巻く内外環境の複雑化により、各学校は、教職員による個業の総和を越えるチームとしての高い業績・成果をあげることが求められる。そのためには、事務職員と教員が「チームとしての学校」の一員として、異なる立場からの意見を互いに尊重しあいながら、検討・合意形成していくことが必要である。しかし、事務職員が少数職種の行政職であることから、学校の教育目標の実現に向けた取組について、教員と対話する機会が必ずしも多くない。教員も、教育にかかる専門職として、様々な問題を教員同士で検討することが一般的であり、事務職員の専門的な知見を活用しようとする機会が少ない。

このような状況から、各学校では、学校の教育目標に向けた取組を事務職員と教員の「関わりあい」を促し、学校の協働文化の醸成を図っていく状況をつくりだすことが必要である。そのためには、事務職員と教員が、学校や教育の理念や意義に関する理解という点で共通の専門性をもち、目指す学校、児童生徒及び地域等の姿を語りあうことのできる同僚として相互に認めあうことが期待される。

本研修講座は、事務職員を主な対象として行う。学校が直面する運営上の事例として、今回は主に学校と社会の関係を問う視点から考察する。形態は演習と講義を設定する。

演習では、ワーク・ショップやケース・メソッドを取り入れ、実践的な問題解決・意思決定能力を高めていくことを目指す（可能であれば、教員も参加したグループを設定する）。また、事務職員は、学校に必置の職と定められている一方で、養成や採用の段階で、必ずしも学校や教育の理論や本質にかかる専門的な知見が求められているわけでない。この点をふまえ、講義では、学校と社会の関係の理解に向けた学びの一環として、歴史的視点と今日的視点の双方から考察する内容を取り入れる。

学校教育を取り巻く環境の変化を所与の条件ととらえ、学校の組織的な付加価値の向上や教育の質の向上に貢献し、学校における適切な教育活動の実現とその継続的な改善・変革に向けた取組に提案性をもって参画する事務職員の専門性の向上を図る。

## ■期待される成果(事務職員の姿)

事務職員として、学校の内外環境に関する事項について理解を深め、学校の組織的・協働的な運営を推進していこうとする。同僚教員とともに、その運営の要件となる学校文化の醸成を進めていこうとする。

学校を社会との関わりにおいて捉え直すことにより、総務・財務等に通じる学校唯一の行政職としての役割・使命を深く理解し、人材育成を含めた持続的な学校運営に貢献していく。

検証に当たっては、事務職員の学校運営に関する取組において、どのような変容があったか(なかったか)について、受講者による自己評価の変容を追跡して実施したい。また、可能であれば、管理職等(校長、副校長、教頭、共同実施組織の事務長など)への聞き取りを実施し、今後の研修講座の内容・方法に反映させる。

### 【教職員支援機構岡山大学センター担当者】

尾上 雅信	岡山大学大学院教育学研究科・教授	
梶井 一暁	岡山大学大学院教育学研究科・教授	[本研修担当] <a href="mailto:kkajii@okayama-u.ac.jp">kkajii@okayama-u.ac.jp</a>
金川舞貴子	岡山大学大学院教育学研究科・准教授	[副センター長]
熊谷愼之輔	岡山大学大学院教育学研究科・教授	
高瀬 淳	岡山大学大学院教育学研究科・教授	[センター長]
平田 仁胤	岡山大学大学院教育学研究科・准教授	
三村由香里	岡山大学大学院教育学研究科・教授	

## 6. 申し込み

### (1) 期限

[基礎] 令和6年1月22日(月)

[探求] 令和5年9月4日(月)

### (2) 方法

倉敷市の方は、下記 URL の申込フォームに必要事項を入力し、申し込みください。

希望者が定員を超える場合は、抽選により決定いたします。

全事研の方は、岡山支部で案内している申込みフォームで手続きください。

[基礎]

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScMbc7fh2pRkmZ2\\_fmhMPvII0lnE\\_zQPx\\_fWKG0XXwWfHxEKA/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail\\_form\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScMbc7fh2pRkmZ2_fmhMPvII0lnE_zQPx_fWKG0XXwWfHxEKA/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link)

[探求]

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf\\_gRC\\_UZd9JQf-3yRe5qCJRSfVTCK0BoYHb8H0ZsIGctGJBQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail\\_form\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf_gRC_UZd9JQf-3yRe5qCJRSfVTCK0BoYHb8H0ZsIGctGJBQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link)

基礎



探求



### (3) 問い合わせ

不明な点は、梶井(担当)まで問い合わせください。

e-mail: [kkajii@okayama-u.ac.jp](mailto:kkajii@okayama-u.ac.jp) tel. 086-251-7708

なお、現在、倉敷市教育委員会関係のアドレスからのメール(@kurashiki-oky.ed.jp)は、岡山大学で受信できない状況があるようです。問い合わせに対し、当センターから返信がない場合、他のメールアドレスで送ってみてください。